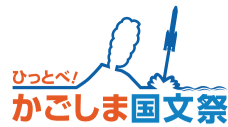


# 県政かわら版



- 1面 県民栄誉表彰
- 2面 世界文化遺産登録決定
- 3面 全国障害者芸術祭・文化祭かごしま大会/  
第30回国民文化祭・かごしま2015
- 4面 情報ボックス／特産品プレゼント

発行／鹿児島県知事公室広報課  
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1  
☎ 099(286)2095  
FAX 099(286)2119

県政かわら版は、県内全世帯配布の県政広報紙です。

県政かわら版は点字版・録音版も発行しています。

ご希望の方は鹿児島県身体障害者福祉協会 ☎099(228)6271 までご連絡ください。

今月号の県政かわら版およびバックナンバー(音声版も含む)は、県ホームページでご覧いただけます。

県政かわら版

検索

## 赤崎勇さんに県民栄誉表彰を贈呈!



### ノーベル賞受賞 2014 NOBEL PRIZE IN PHYSICS

本県出身者として初めてノーベル賞を受賞した名城大学教授(終身)赤崎勇さん(南九州市知覧町出身)への県民栄誉表彰授与式が平成27年6月25日に県庁で行われ、伊藤知事から表彰状、記念品が贈られました。

赤崎さんは、青色発光ダイオード(LED)を世界で初めて実現し、天野浩さん、中村修二さんらとともにノーベル物理学賞を受賞しました。

本県ではこれまで、平成8年度に百武裕司さん(彗星の発見)、平成14年度に本郷かまとさん(長寿世界一)、平成16年度に柴田亜衣さん(アテネ五輪金メダリスト)の3人と、平成8年度に鹿児島実業高等学校サッカー部(全国高等学校サッカー選手権大会優勝)および同硬式野球部(全国選抜高等学校野球大会優勝)の2団体が受賞しています。

#### プロフィール

生年月日 1929年1月30日  
出身地 南九州市知覧町  
現職 名城大学教授(終身)、名古屋大学特別教授・名誉教授

#### 主な略歴

- 1941年 大龍尋常高等小学校(現、鹿児島市立大龍小学校)卒業
- 1946年 鹿児島県立第二鹿児島中学校(現、鹿児島県立甲南高等学校)四年修了
- 1949年 第七高等学校造士館(現、鹿児島大学)卒業
- 1952年 京都大学理学部を卒業
- 神戸工業(株)(現、富士通(株))に入社
- 1959年 名古屋大学工学部助手に就任
- 1964年 名古屋大学工学部講師、助教授に就任  
(株)松下電器東京研究所基礎第四研究室長、同半導体部長に就任
- 1981年 名古屋大学工学部教授に就任
- 1992年 名古屋大学を定年退官し、同大名誉教授、名城大学理工学部教授に就任

### 赤崎勇さんから 鹿児島県の青少年へのメッセージ

若い人の持っているキャンバスには余白があると思います。若い人のいいところは、何でもそこに自由に描けるということ。私には今でも描きたいことはあるが、余白がありません。若い人には時間が無限にあると思うので、キャンバスに自分の夢を思い切って描いてほしい。

学生によく言っていることは、はやりの研究にとらわれないで、自分の好きなことをやりなさいと。好きなことなら、どんなに挫折してもくじけません。本当に好きなことを見付けることは簡単なことではないですが、自分の可能性を信じて前向きに進んでもらいたいです。



「自分の可能性を信じて」と語る赤崎先生(県庁)

#### Q1 ノーベル賞を受賞した理由は何ですか?

▶エネルギー効率が高く環境に優しい光源である発光ダイオードの「青色」を開発し、実用化した功績が認められたからです。

#### Q2 青色発光ダイオードができたことで、どのような恩恵があるのですか?

▶光は赤色と緑色と青色の三原色を重ね合わせることで、いろいろな色を表現できます。赤色と緑色の発光ダイオードは既に開発され使用されてきていましたが、青色は開発が難しく、研究者の間では「20世紀中には実現不可能」と言われていました。

しかし、1989年に青色が開発されたことで光の三原色がそろい、白色も作り出すことが可能になり、一般の照明用として用途が広がったのです。

問い合わせ先 県庁秘書課 ☎099(286)2026